

① 園舎の改修工事について

Q 幼稚園舎のプールが浅いため嵩上げを行い、水深を深くすることですが、改修後のプールの深さはどれくらいになるのでしょうか。

A 現状の幼稚園舎のプールの深さは一番深い部分で40cmであり、幼児用には浅すぎるため、プールサイドを20cm嵩上げすることにより、水深が深くなるように改修します。改修後は一番深い部分で60cmとなりますが、プールは満水にして使用しないため、実際的水深はもう少し浅くなります。

Q 施設整備工事というのは、園舎のリフォームを行うことなのでしょうか。また、改修内容について詳細な図面がないとどのような保育が出来るのかイメージできません。

A 施設整備工事は、こども園移行を機会に内部、外部共に様々な改修を行いますが、主な改修内容は、保育室やトイレの環境改善や年齢に応じた設備改修を目的とした内部改修工事（リフォーム）と幼稚園舎での給食提供のための給食調理室の増築工事となります。具体的な改修内容については、工事の節目節目にお知らせを配布しますので、そこに掲載させていただきたいと考えています。

Q 保育室の床に塩ビシートを張るとのことですが、シックハウスの対策はされるのでしょうか。

A 改修に使用する塩ビシートは、シックハウスの原因となるホルムアルデヒドの発散の恐れがないと国が認めているものを使用しています。さらに、改修検査時には、空気中のホルムアルデヒド等の原因物質の濃度の測定を行うこととなります。

Q 幼稚園舎の開放廊下ですが、保育園のようにシートを貼ったりしないのでしょうか。

A 開放廊下の改修については、改修を検討していましたが、工事費用が見積段階で予算額を大きく超えてしまったため、実施を見送ることになりました。

Q 園舎の耐震性はあるのでしょうか。

A 保育園舎及び幼稚園舎共に国が定める耐震基準を満たしており、耐震性は確保されています。

② こども園における教育・保育の内容について

Q 幼稚園の出入り口ですが、裏門から出入りできないのでしょうか。

A 現在幼稚園の出入り口については、不審者対策として、園舎北側の正門等から出入りしていただいておりますので、こども園移行後も現在と同様の取扱いをさせていただきます。

Q 工事期間中の幼稚園の運動会はどのように行うのでしょうか。

A 給食調理室増築工事中は、幼稚園の園庭の一部が使用できないため、園職員と協議の結果、幼稚園の運動会については、10月末に保育園の園庭で実施させていただくことになりました。

Q	11月からの保育園舎の工事期間中の保育内容の情報を提供してもらえるのは、具体的にいつなのでしょう。また、土曜日の利用についても情報提供してもらえるのでしょうか。
A	保育園舎の改修工事の施工業者が決まる10月頃から工事が始まる11月までの間で、工事期間中の保育内容を掲載した冊子にてお知らせします。また、冊子には土曜日保育の利用方法の情報も掲載します。

Q	保育園舎の工事の期間が2月末までとなっていますが、工事が終われば、幼稚園舎に移った保育園児は保育園舎に戻るのか、そのまま幼稚園舎に残るのか、どちらなのでしょう。4月からこども園になるのであれば、保育園舎に戻らなくてもよいと思います。
A	幼稚園舎に移った保育園児は、こども園移行に伴い4月から引き続き現幼稚園舎で生活することになります。そのため、2月末で保育園舎の工事が終了した以降も、引き続き幼稚園舎での保育の実施を考えています。

Q	保育園で布団のリースについてのアンケートを取られていましたが、希望者みでの導入検討で進んでいるのでしょうか。強制ではクレームの基になると思います。
A	布団のリースの実施は検討中ですが、リースを導入する場合は、希望者みの実施となります。

Q	自動車での送迎は全員が対象になるのでしょうか。
A	自動車での送迎は全員が対象ではありません。2、3号認定利用の方は今までどおり、自動車での送迎が可能ですが、1号認定利用の方は、基本的には徒歩通園となります。ただし、1号認定利用の方で、一定の距離から通園される方や妊娠、怪我等の特別な事情がある方については、自動車での通園を許可することを考えています。

Q	分園により、年の離れた園児との交流が難しくなると思います。
A	確かに、0～5歳児が1つの園舎で園生活を送り、異年齢間の交流ができることが、保育園の魅力のひとつです。しかし、異年齢児と交流し、他の子どもを思いやる力は0～2歳児間の交流、3～5歳児間の交流においても身に付けることが可能であり、その力を身につけることができるよう、こども園開園後も教育・保育を一体的に行っていきます。また、子どもたちが環境の変化に戸惑ったり、きょうだいと離れることをさみしく思ったりせず、楽しく園生活を送れるよう、子ども未来部職員と園職員で準備を行い、開園後も配慮していきます。

③ こども園の職員配置等について

Q	職員の数については、各クラスに何人の職員が配置されるのでしょうか。今の保育園と同じ人数体制を確保していただきたいです。また、今のクラスは職員の数を増員してもらっていますが、こども園移行後も配慮してもらえるのでしょうか。
A	こども園の職員配置については、現在の保育園の職員配置の基準をベースに11時間開所のための職員のシフトや支援を必要とする園児を受け入れる場合等に必要に応じた職員配置をしていくこととなりますので、こども園移行後も、職員配置の考え方は変わりません。

Q	こども園に移行する事により、園長先生の配置はどうなるのでしょうか。何か起きたときに誰に伝えればよいのでしょうか。
A	分園において園長は乳児棟（保育園舎）に配置することを考えていますが、幼児棟（幼稚園舎）へは副園長を配置するのか、それとも園長と同等の権限を持つような職員を配置するのか現在検討中です。

④ 送迎・駐車場について

Q 現時点での駐車場と駐輪場の整備内容について教えてください。

A 駐輪場については、幼稚園舎の北側に2か所に分けて計20台程度を駐輪できるように整備します。駐車場については、平城西公民館のテニスコートを駐車場として拡充整備し、さらに朝の時間帯（午前9時まで）のみですが、高の原コミュニティスポーツ会館の駐車場を活用することで、現状より倍程度の駐車スペースの確保を見込んでいます。

Q 高の原コミュニティスポーツ会館の駐車場は夕方は利用できないのでしょうか。

A 高の原コミュニティスポーツ会館の駐車場の利用については、夕方の時間はスポーツ会館利用者で混雑するため、利用できません。利用できるのは、開館前の午前9時までとなります。

Q 平城西公民館の駐車場を整備するとのことですが、保育園舎の改修工事が始まる11月までに改修してもらえるのでしょうか。また、改修工事中の駐車場の利用はどのようになるのでしょうか。

A 平城西公民館の駐車場については、保育園舎の改修工事が始まった11月以降の改修となります。設計作業もこれからのため、具体的な工事時期は決定していません。なお、改修工事中の平城西公民館の駐車場の利用については、一般利用者に加え、保育園の送迎用の駐車場としても活用していることから、改修工事中も利用できるような工事内容を検討します。

Q 今時間ぎりぎりに迎えに来ている保護者もいるが、分園により時間に間に合わない場合は、そういった保護者に対して何か配慮はしてもらえるのか。

A こども園移行後の送迎時の配慮については、移行に伴う経過措置として、午前8時30分までの登園児に限り、きょうだい関係のある園児は一旦乳児棟（保育園舎）に送迎をいただいた後に、職員引率の下で、3～5歳児の幼児は幼児棟（幼稚園舎）へ移動する方法を前回の説明会でお知らせしていました。その他には、保育短時間利用の方で、例えばきょうだい関係のある園児を両方の園舎にお迎えにいくにあたり、下の子のお迎えには間に合ったが、園舎の移動中に上の子のお迎えに間に合わなくなったという場合は、延長保育料は徴収しないなどの配慮を検討しています。

⑤ その他

Q こども園に移行することにより、行事や参観の数は増えるのでしょうか。また、行事は幼稚園、保育園どちらに合わせるのでしょうか。

A 行事の工夫として、現在こども園であれば参観は自由参観の形式で行って、発表会は休日にするなどの方法を取っているところもあります。行事につきましては、各こども園で保護者の意見をもとに試行錯誤している部分ではありますが、幼稚園と保育園の行事をどのように引き継いでいくかも含めて、こども園移行に向けて、園職員等と相談しながら検討しているところです。